

社会文化学会 第26回 全国大会

2023年12月2日・3日
名古屋工業大学 23号館

共生の社会文化とシティズンシップ

シンポジウムⅠ 12月2日(土)14:00～

「多様な人々にひらかれた文化芸術活動と社会文化
——我が国の『文化民主主義』の現状と展望」

半田将仁(可児市文化創造センター ala)

中西美穂((一社)HAPSリサーチャー・元大阪アーツカウンシル統括責任者)

シンポジウムⅡ 12月3日(日)14:00～(オンライン配信有)

「シティズンシップの現在を問う——北欧を参照点として」

リンデル佐藤良子(ジャーナリスト・教員)

天池洋介(岐阜大学)

小池直人(岡崎女子大学)

参加事前登録制

裏面の二次元コード、または社会文化
学会ホームページからご登録ください。

参加費 一般 1,500円
大学院生 1,000円
学部学生無料

公益財団法人大幸財団の助成を受けて開催します。

タイムテーブル

12月2日(土)12:30 開場
13:00～13:45 総会(会員のみ)
14:00～17:30 シンポジウムⅠ
18:15～ 懇親会(名工大内カフェ・サラ)
*懇親会費 一般4,000円、学生・院生2,000円

12月3日(日)9:00 開場
9:30～12:30 自由論題
14:00～17:30 シンポジウムⅡ
*シンポジウムⅡのみオンライン(Zoom)で配信します。



愛知県名古屋市昭和区御器所町
JR・名古屋市営地下鉄 鶴舞駅より東へ400m

社会文化学会 第26回 全国大会

共生の社会文化とシティズンシップ

2023年12月2日(土)・3日(日)名古屋工業大学 23号館

■シンポジウムⅠ 12月2日(土)14:00～ 2階 2323教室

「多様な人々にひらかれた文化芸術活動と社会文化——我が国の『文化民主主義』の現状と展望」

報告①半田将仁(可児市文化創造センター)

「社会包摂型劇場の取り組み——可児市文化創造センターalaの『まち元気プロジェクト』の事例から」

報告②中西美穂(一般社団法人HAPSリサーチャー・元大阪アーツカウンシル統括責任者)

「多様な人々にひらかれた文化芸術活動の実践と展望——大阪における『病院でのアート活動』を事例に」

コメント1:中山佳子(名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所)「東海地方のシニア劇団の事例をふまえて」

コメント2:荒井和樹(中京学院大学)「若者当事者アウトリーチ活動の経験から」

司会:山田康彦(三重大学)

■シンポジウムⅡ 12月3日(日)14:00～ 2階 2323教室(オンライン配信有)

「シティズンシップの現在を問う——北欧を参照点として」

報告①リンデル佐藤良子(ジャーナリスト・教員)「スウェーデンの『シティズンシップ教育』」

報告②天池洋介(岐阜大学)

「グローバル化におけるシティズンシップの政策構造——北欧協力によるシティズンシップ政策の北欧化」

報告③小池直人(岡崎女子大学)「法制から倫理へ——思想史的視点から」

司会:池谷壽夫(了徳寺大学)・田淵宗孝(羽衣国際大学)

■自由論題 12月3日(日)9:30～12:30

【A(2332教室)】司会:和田悠(立教大学)・篠原真紀子(日本福祉大学)

報告① エスカンド・ジェシ「日本のコンテンツ産業におけるカルチュラル・ブライндネス——異文化受容関連の問題例を中心に」

報告② 遠山一明「日本文化と自己矛盾——言説の二重構造から見えてくるもの」

報告③ 吉成哲平・三好恵真子「敗戦と占領体験から問い直され続けた『アメリカニゼーション』

——写真家 東松照明が捉えた『戦後』を生きるひとびとの葛藤」

報告④ 清原悠「ミニコミ書店が刊行するミニコミの機能分析——ミニコミ・小流通出版物取扱書店『模索舎』の文化とメディア」

【B(2321教室)】司会:南出吉祥(岐阜大学)・石本啓一郎(名寄公立大学)

報告① 加野泉・茂木輝順・池谷壽夫「性の多様性教育の実践と課題——スウェーデン調査からの検討」

報告② 角亮典「『大人へのわたり』を支える地域の“関わりしる”——若者地方移住者の視点から」

報告③ 橘那由美「学校教育における子ども同士の身体接触許容範囲の検討——組体操指導者用書籍の分析結果を参考にして」

報告④ 堀場純矢「児童養護施設における労働争議と労働組合の役割——インタビュー調査から」

【C(2342教室)】司会:熊本理抄(近畿大学)・小木曾洋司(中京大学)

報告① 木下太郎「京都府京都市におけるオーバーツーリズムを原因として発生した公共交通問題とその問題に対して行われた対応策についての研究」

報告② 奥村晴宗「日本のムスリム第2世代における信仰の継承と発展

——家庭内外での相互行為の経験とロールモデルに着目して」

報告③ 中山佳子「変身を通じた『わたし』との出会いについて——シニア演劇参加者の語りの分析から」

報告④ 重本直利「京都社会文化センター活動史(1999年～2023年)——その思想と論理」

■懇親会 12月2日(土) 18:15-20:15 名古屋工業大学校友会館 カフェ・サラ

会員・非会員問わずご参加いただけます。(事前登録はこちらから)

当日参加も受け付けますが、可能な方は下記口座に参加料振込みの上、ウェブフォームにて参加登録をお願いします。登録フォームへは下記二次元コードから、または社会文化学会ホームページからアクセスできます。

参加費:一般1,500円、大学院生1,000円、学部学生 無料

懇親会参加費:一般4,000円、大学院生・学部学生2,000円

＜郵便振替＞

口座番号: 00980-1-135128

＜銀行から＞

銀行名: ゆうちょ銀行 店番: 099

店名: ゼロキウキウ 当座 0135128

加入者: シャカイブンカガツカイ

お問い合わせ

社会文化学会第26回全国大会事務局

466-8555愛知県名古屋市昭和区御器所町

国立大学法人名古屋工業大学

ダイバーシティ推進センター 加野 泉 気付

taikai26@japansocio-culture.com



カバー写真:
選挙小屋で政党担当者の話を聞く子どもたち
2022.9.6 総選挙直前のストックホルムにて



社会文化学会
The Association for the Socio-Culture